

Allison Adams Tucker

ジャンル：ジャズ / ボーカル / ラテンジャズ

所在地：USA カリフォルニア州



カリフォルニア州サンディエゴ生まれのマルチリンガルジャズヴォーカリスト、Allison Adams Tucker (アリソン・アダムズ・タッカー) は言葉をはしゃぐようになる前から歌い始めていた。クラシック音楽家の両親に育てられたアリソンは、5歳から人前でパフォーマンスをするようになった。ピアノ、フルート、ヴァイオリン、ダンス、ヴォイストレーニングを小学校から始め、大学では言語学と音楽ヴォーカルパフォーマンスを専攻。

アリソンのボーカスタイルは、パンクロックからエリゼベサンのアカペラまで、様々な音楽ジャンルから影響を受けている。そして2005年、ジャズ世界に入ることとなった。

アリソンは、他言語や多文化に対する興味を幼い頃から強く持っていた。母国語である英語の他に、6ヶ国語での生活、学習、歌唱経験がある。日本とスペインに住んだことがあり、訪れた国は15カ国以上におよぶ。

この“旅行熱”は、現在彼女が好んで選ぶ音楽にも表れている。アリソンの音楽は世界中の文化、リズム、メロディー、そしてブラジル、フランス、イタリア、ラテンアメリカ、日本、アメリカの言語に対する情熱を反映している。

2008年リリースされたデビューCD「Come With Me」(Alegato Music社)は、ジャズギタリストのPeter Sprague (Dianne Reeves, David Benoit, Chick Corea, Sergio Mendes)と共同プロデュース。Kamau Kenyatta (Hubert Laws, Earl Klugh, Patti Austin)が編集。2009年サンディエゴ・ミュージック・アワードでベスト・ジャズ・アルバムにノミネートされ、今でも18カ国のラジオ局で流されている。

アリソンのセカンドアルバム「April in Paris」は世界中の春を謳歌した作品。イタリアとフランスでの9回に及ぶコンサートツアーの総仕上げとして、第1回ユネスコ・インターナショナル・ジャズ・デイにパリでレコーディングされた。アレンジはKamau Kenyatta, Danny Green, Emmanuel MassarottおよびJovino Santos Netoなどが手がける。「April in Paris」を2014年にリリース予定。

セッション・ヴォーカリストとしても活躍。ビデオゲーム「The Saboteur」のサウンドトラックでは、Nina Simone, Ella Fitzgerald, Madeleine Peyrouxなどと共に彼女のフレンチジャズの歌声が聴ける。このサウンドトラックへの参加により、ジャズリスナーでないゲームファンにもファン層を広げることとなった。

国際的アーティストとして、アリソンは日本、ヨーロッパ、メキシコ、アメリカにおいて活躍。テレビのローカル局、全国ネットワークをはじめラジオやフェスティバル、ジャズクラブにおいてパフォーマンス。Kenny Burrell, Poncho Sanchez, Ivan Lins, Mindy Abair, Pete Escoveda, Sheila E, Tommy Campbell, Gene Jackson, Mirko Guerrini, TOKU (日本ソニーミュージック)や太田剣 (日本ユニバーサルジャズ)など、数多くの優れたジャズアーティストとのコラボやフェスティバル共演も果たす。

日本語版 HP・携帯サイト：<http://artists.topmusic.jp/allisonadamstucker>

公式 HP：<http://www.allisonadamstucker.com>

連絡：info@allisonadamstucker.com (英語・日本語)



携帯サイト・試聴・ビデオ